

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズボンド北方				公表日	2026年 2月 24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・十分なスペースが確保されている。	・混雑しやすい時間帯は、空間の活用方法を見直していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・子どもの安全に配慮して、人員配置をすることが出来ている。	・送迎で職員が抜けた時の細やかな対応を整えていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・視覚優位性に基づき、時計の図形を書いて、時間をわかりやすくしているため、行動しやすい配慮が出来ている。	・イラストや絵などを用いて、見通しを持った工夫をしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日の清掃を必ず行っている。 ・活動内容によっては、スペースを分けて対応している。	・子ども達にも出来る所は行ってもらい、協力して清潔に保っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・必要に応じて、学習室を個別に使用する空間にしている。(クールダウン等も含む)	・パーティションがあるとより良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・受け入れ前と1日の振り返りミーティングを毎日行っている。	・契約社員さんもいれて、細かいミーティングを検討。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・評価表を配布して、記入した意見を改善に繋げている。	・保護者からの意向についても、より正確に受け止めるようにしたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・振り返りミーティングを行い、記録に残している。	・契約社員さんもいれて、細かいミーティングを検討。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	・定期的な監査を行っている。	・まだ、未定だが今後監査が実施される予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・KB本社主体による研修に参加している。	・事例の共有を行い、職員間でも学びの機会を増やしていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・支援プログラムを作成して、HPで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・アドバイザーのもと、標準化されたアセスメントシートを用いて、支援計画を作成している。	・情報共有の質の向上を今後は検討していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・アドバイザーと管理者で計画案を作成し、担当者会議にて支援計画が妥当か検討している。	・アセスメントの事前打ち合わせなどの機会を増やしていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・いつでも拝見出来るようなファイリングをしたり、個人記録に記載している。	・契約社員さんも入れた、職員会議を検討。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・ASISTを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・本人支援、家族支援、移行支援及び地域支援が含まれ設定されている。ニーズや成長に合わせて変更している。	・今後は職員間で統一して、具体的な設定で出来るようにしていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・チームで立案して、担当がプログラムを担当している。	・職員間でのアイデア共有を増やしたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・日替わりで工夫して行っている。	・引き続き、季節行事にちなんだプログラムを入れていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・サービス計画を、適宜組み合わせ変更している。	・児童の当日の状態等を計画への反映に活かしたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・児童の個別に必要な対応や、留意して対応しなければならない対応をミーティングにて共有している。	・今後は再度、チェックリストを入れて対応することも検討。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・受け入れ前と1日の振り返りミーティングを行い、記録に残している。	・要点を簡潔にまとめる仕組みを工夫して取り入れ、継続的な支援改善に努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・支援記録に残して、共有すべき事をミーティングで共有している。	・記録内容の整理方法を今後は検討。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・モニタリングを行い、成長にあったサービス計画の見直しを行っている。	・計画の見直しに反映しやすい仕組みづくりをしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・制作活動や余暇の提供を、複数組み合わせ支援を行っている。	・今後は、活動テーマの工夫を取り入れ、基本活動を複合的に取り入れることが出来るようにしていく。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・子どもの自己選択を尊重している。自分で選択できた時には、褒める等して自己肯定感を高めている。	・イラストやジェスチャー等で言語が難しい児童が表現出来るような工夫をしていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・管理者だけではなく、現場の職員にも参画していただいている。	・情報共有や打ち合わせの強化をしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	・保護者を通して、伝えてもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・保護者と連携して行っている。	・必要に応じて、確認事項をメモで整理するなどして、情報共有がスムーズに行えるようにする。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	・在籍中に利用があった場合は、共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	・今は該当する利用者がいない。	・今後利用がある場合に、連携をしっかりと行い、情報共有を図りたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	・今は、対象児童がいないため行っていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・今後、機会を設けていけたらよい。	・児童の興味や特性に合わせて、地域での活動の場を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	・今後参加できるとよい。	・より多くの職員が協議会の情報が共有出来るように方法を考えていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・日常の様子を送迎時にお伝えしている。相談には迅速に対応出来るようにしている。	・子どもの変化をより正確に把握できるように、情報交換の機会を増やしていく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・保護者の方が参加できる機会がない。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時やモニタリング時に必要に応じて行っている。	・LINEや送迎時にも必要に応じてお伝えしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・高学年の児童の場合や、保護者が希望される場合は、利用者にモニタリングに入っていたいただいていた。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・計画を作成したら保護者の方に見てもらい、確認・同意のサインを頂いている。	・保護者がより理解することが出来るように、提示方法や振り返りの工夫を行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・保護者から頂いた内容を職員間で共有して話し合い、その結果を支援内容に反映している。	・保護者がより相談しやすい場や情報共有の方法を増やして、安心して悩みを相談できるようにしたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・年末に保護者が参加できるような活動を開催したことで、保護者間での交流の場を設けることができた。	・KBグループの他事業所のイベントも参考にしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・迅速に周知して対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月の通信やSNSで様子を発信・お伝えしている。	・保護者に伝わりやすい方法を検討して、今後は実施していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・十分留意して取り扱いをしている。	・職員間での体制をさらに見直して、安全性の高い管理が出来るようにしていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・写真やイラストでわかりやすくして対応している。	・事前に伝わりやすい方法を保護者や学校から共有する等していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	・イベントは行っていない。参加もなし。	・今後、職員全員で検討が必要になる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルに沿って、毎月避難訓練を行っている。	・抜けがないように、職員全員で考えて行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・BCPを策定している。	・BCPに沿った対応を徹底する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	・インテーク時に情報収集している。	・今後もインテーク時に情報収集・確認していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	アレルギーについての情報を個人ファイルで管理し、職員間で共有して理解を深めている。	・定期的に更新の内容や確認を行い、周知方法の見直しも行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成している。	・職員への訓練なども検討する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・毎月の通信に内容を入れて、報告している。	・保護者がわかりやすいような方法を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・受け入れ前と1日の振り返りミーティングを行い、記録に残して再発防止に努めている。	・今後、職員全員で検討が必要になる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・虐待防止研修を定期的に行っている。	・今後、職員全員で検討が必要になる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	・個別支援計画に記載して、同意書をいただいている。	・今後、職員全員で検討が必要になる。場合によっては、保護者の方への丁寧な説明を行って言う。	